

今回も「クラブツーリズム（龍神岳で「シロヤシオ」を、見て竜神温泉に入る）」バスツアーを利用して行ってきました。我々を入れて総勢19名の参加者でした。（男子7名・女子12名）

新大阪駅を10時40分に出発。阪神高速、阪和道を経由して和泉山地・南葛城山の東にある鍋谷トンネルを経由高野山に登り、高野龍神スカイラインを経由して、登山口の護摩山タワーに到着。高野山への上りは片側1車線の狭い道で、カーブの連続、大型バスにもかかわらず右に左にと勢いよくハンドルを切るの、添乗員の方からは事前に「車酔いしないよう」との注意がありました。

2名のガイドさんと添乗員の3人が加わって、22名でスタート。1,237m地点の駐車場から、今日一番の上り坂という階段を上り、石畳の敷かれた道を歩き高野山方面へ眺望の開けた「護摩壇山山頂」に到着。途中目的の花「シロヤシオ」が咲いているところを皆さん写真撮影。ガイドさんの話では「先週は寒くて10℃以下で心配していたが、昨日今日の天気で一気に花が咲き、見てもらえて良かった。」との話でした。

わずかなアップダウンを繰り返して十津川方面が見える「竜神岳山頂」を経由し「耳取山」、その後下りの地道を通って護摩山タワー駐車場へ戻りました。

注) 龍神岳は2008年まで名無しの山で、それまでは護摩壇山が和歌山県の最高峰でした。

注) 「シロヤシオ」はツツジ科の花で、別名「ゴヨウツツジ」とのこと、知っている方は今日の楽しみの一つということでした。また、下山の途中で「朴ノ木」（木蓮の仲間）で葉っぱを朴葉味噌に使う朴）にも一輪の白い花を見つけました。

下界とは1,000メートル以上の高度差があり、寒いのではと出発前、服装に頭を悩ましていましたが、思ったより暑く、うっすらと汗をかきました。乾いた心地よい風が吹き半そで歩いて方もおられました。約5キロの道のりを歩きスタート地点の護摩山タワーに13:00頃戻り、約5キロ・約2時間の歩きがケガもなく無事終了、駐車場を出発して、途中の道の駅で遅い昼食、15時過ぎに目的の一つ龍神温泉元湯（下御殿の隣）につかり、日高川の橋の上で心地よい風に吹かれ、北村さんご持参のビールで湯上りを楽しみました。

全員揃ったところで、有田経由で阪和道を経由して一路新大阪へ。全員無事に帰着しました。

記

参加者：岡田、北村、仁木、藤田、小瀧の5名。

1. 実施日：2025.05.20 新大阪駅前7:30集合、7:40出発
2. 往路：新大阪駅→阪神高速・阪和道経由「道の駅串柿の郷」（9:00・9:15）→高野龍神スカイライン経由護摩山タワー（11:00・標高1,237m）
3. 歩行：護摩山登山口→護摩壇山頂（11:30・標高1,372m）→龍神岳山頂（12:00・1,382m）→耳取山山頂（12:20・1,365m）→護摩山タワー（13:00・1,285m）
4. 帰路：護摩タワー（13:10）→道の駅龍神（14:45・15:20）→龍神温泉元湯にて入浴（15:30・16:40）→阪和道紀ノ川SA（17:15・17:45）→新大阪駅（18:50）
5. トピックス1.: 当日朝は、神戸線と大和路線で事故等があり、列車が遅延、時間に間に合うのかヤキモキしていたら、仁木さんが「ちょうど新幹線に乗れた。乗れていなかったら参加費がパーになるところだった。」ということで、影響を受けた藤田さん・北村さんとも集合時間に間に合いました。

トピックス2.: ガイドの方に我々がどうゆう集団か尋ねられ、「和大的経済OB」と答えると、ご本人は橋本の出身で、「もう一人のガイドさんが和大的教育出身。」と伺い北村さんが紀学同窓会の方のお名前を出すと、よくご存じの方で、柑芦会とも交流がある方と分かり、その後いろいろと話が盛り上がりました。

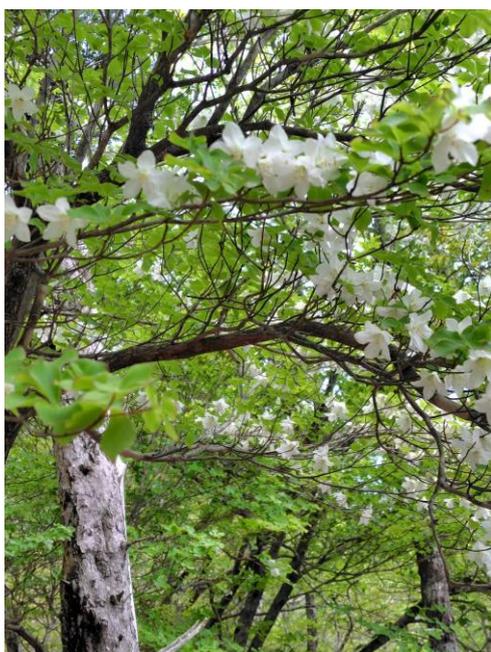
以上



護摩壇山山頂



龍神岳山頂



シロヤシオ



龍神温泉（以上2枚は岡田さん撮影）